

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団施設維持管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	02	02	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市消防団	意図	消防団機械器具置場を適正に維持管理し、消防団活動の充実を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・機械器具置場の修繕 ・機械器具置場土地使用料借上料支出 			
事業開始から現在までの状況変化	機械器具置場は古い順に計画的に建て替えをしているが、経年による建物の劣化は避けられないものとなっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	機械器具置場の修繕	4	3	4	回	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
限られた予算の中で、緊急度の高い修繕から着手している。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	5,325,152	5,293,821	4,979,626
事業費(b)(円)	1,892,652	1,937,821	1,683,626
うち一般財源	1,892,652	1,937,821	1,683,626
職員給与費(c)(円)	3,432,500	3,356,000	3,296,000
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.50
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	災害発生時における防災施設としての適正な維持管理。	③取組における課題(Check)	地域防災の要である消防団の拠点施設を適正に維持管理する。
②H30に実施した取組(Do)	器具置場敷地内整備ほか軽微な修繕。土地借上料の支払い。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	重要度の高い修繕や古い施設等を把握し適正に管理する。